

1. 国立大学法人埼玉大学における教育の内部質保証に関する規則別表2に掲げる評価事項

「自己評価」とは内部質保証責任者による自己点検・評価結果で、「確認結果」とは内部質保証実施責任者による「自己評価」の確認結果である。

「○」基準を満たしている。

「△」基準を満たしているが、改善を要する事項が認められる。

「×」基準を満たしていない。改善を要する。

学生の受入れに関する自己点検・評価

分析項目	評価事項	評価基準	評価実施主体	内部質保証責任者	自己評価	確認結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
5-1-1	1-2 学生受入方針の策定 状況	学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示しているか。	教育機構 アドミッション センター	理事 (教学・学生担当)	○	○			
5-2-1	1-3 入学者選抜の実施状 況	学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	教育機構 アドミッション センター	理事 (教学・学生担当)	○	○			
5-2-2	1-4 学生受入れに関する 取組状況及びその結 果を踏まえた選抜の 改善状況	学生受入方針に沿った学生の受入れが実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	教育機構 アドミッション センター	理事 (教学・学生担当)	○	○			
5-3-1	1-1 教育課程の入学定員 充足状況	実入学者が、入学定員に対して適切な人数となっているか。	教育機構 アドミッション センター	理事 (教学・学生担当)	○	○			
【特記事項】									
該当なし									
【優れた成果】									
該当なし									
【改善を要する点】									
該当なし									

学生支援に関する自己点検・評価

分析項目	評価事項	評価基準	評価実施主体	内部質保証責任者	自己評価	確認結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
2-3-3	2-1 学生生活に関するアンケート	学生生活支援への満足度が適切な水準を保っているか。	教育機構 学生生活支援室	理事 (教学・学生担当)	○	○			
<p>【特記事項】</p> <p>[2-3-3] [2-1] 令和6年度学生生活に関するアンケートは、設問内容の見直しと学生生活支援会議での議論を経て、3月に実施することになった。回答率向上に向けて、令和7年度実施分より対象者を同様としている在学生調査と統合し実施することで改善を図ることとした。</p>									
<p>【優れた成果】</p> <p>該当なし</p>									
<p>【改善を要する点】</p> <p>[2-3-3] [2-1] 令和7年度以降は学生の回答率向上を目的とし、在学生調査と統合しアンケートを実施する。</p>									

教育課程及び学修成果に関する自己点検・評価

分析項目	評価事項	評価基準	評価実施主体	内部質保証責任者	自己評価	確認結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要						
2-3-3	3-4 授業評価結果	授業への満足度を適正な水準に保っているか。	教養学部	教養学部長	○	○	授業の満足度向上のための各種取組を行う	○	令和7年度には学部でのFDや個別教員への指導の他、全学として授業評価結果の改善計画を進めている。						
			経済学部	経済学部長	△	△									
			教育学部	教育学部長	○	○									
			理学部	理学部長	○	○									
			工学部	工学部長	△	△									
			工学部	工学部長	△	△									
	3-8 新入生・在学生アンケート	新入生（研究科を除く。）・在学生のニーズに応える教育課程となっているか。	人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○	授業の満足度向上のための各種取組を行う	○	令和6年度分授業評価結果については組織的な点検、一部の教員へヒアリング・指導を行い、改善方法を検討する予定の他、全学として授業評価結果の改善計画を進めている。						
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○									
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○									
			教養学部	教養学部長	○	○									
			経済学部	経済学部長	○	○									
			教育学部	教育学部長	○	○									
			理学部	理学部長	○	○									
			工学部	工学部長	○	○									
6-4-1	3-1 1年間の授業期間	1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものになっているか。	教養学部	教養学部長	○	○									
			経済学部	経済学部長	○	○									
			教育学部	教育学部長	○	○									
			理学部	理学部長	○	○									
			工学部	工学部長	○	○									
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○									
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○									
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○									
			6-4-3	3-2 シラバスの入力状況	授業科目のシラバスを全件、全項目について適切に入力しているか。	教養学部				教養学部長	○	○			
						経済学部				経済学部長	○	○			
教育学部	教育学部長	○				○									
理学部	理学部長	○				○									
工学部	工学部長	○				○									
人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○				○									
教育学研究科	教育学研究科長	○				○									
理工学研究科	理工学研究科長	○				○									

6-6-3	3-3 成績分布の組織的な 確認状況	成績評価基準に則り各授業科 目の成績評価及び単位認定を 厳格かつ客観的に行っている ことを組織的に確認している か。	教養学部	教養学部長	○	○			
			経済学部	経済学部長	○	○			
			教育学部	教育学部長	○	○			
			理学部	理学部長	○	○			
			工学部	工学部長	○	○			
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○			
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○			
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○			
			6-8-1	3-6 標準修業年限内の卒 業（修了）率及び 「標準修業年限× 1.5」年内卒業（修 了）率、資格取得状 況	標準修業年限内の卒業（修 了）率及び「標準修業年限× 1.5」年内卒業（修了）率、 資格取得等の状況が適切な水 準を保っているか。	教養学部	教養学部長	○	○
経済学部	経済学部長	○				○			
教育学部	教育学部長	○				○			
理学部	理学部長	○				○			
工学部	工学部長	○				○			
人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○				○			
教育学研究科	教育学研究科長	○				○			
理工学研究科	理工学研究科長	○				○			
6-8-2	3-7 就職及び進学状況	就職及び進学の状況が適切な 水準を保っているか。				教養学部	教養学部長	○	○
			経済学部	経済学部長	○	○			
			教育学部	教育学部長	○	○			
			理学部	理学部長	○	○			
			工学部	工学部長	○	○			
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○			
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○			
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○			
			6-8-3	3-5 卒業時・修了時アン ケート結果	教育課程への満足度が適切な 水準を保っているか。	教養学部	教養学部長	○	○
経済学部	経済学部長	○				○			
教育学部	教育学部長	○				○			
理学部	理学部長	○				○			
工学部	工学部長	○				○			
人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○				○			
教育学研究科	教育学研究科長	○				○			
理工学研究科	理工学研究科長	○				○			

【特記事項】

該当なし

【優れた成果】

該当なし

【改善を要する点】

[2-3-3] [3-4] 授業評価結果について（経済学部）

経済学部は総合満足度評価4.45を下回っているが、極端に低い数値ではないため（4.40）、自己評価を「△」としている。改善に向けて、FD委員会において「授業評価アンケート」の結果について教員が返答を行う「レスポンス2026」の執筆をさせることで、各教員が授業評価について振り返りを行うようにしている。

[2-3-3] [3-4] 授業評価結果について（工学部）

総合満足度評価の目標値である4.45を下回っているが、第4タームにおいては当該値を上回る結果が出ているため、自己評価を「△」としている。改善に向けて、学科毎に評価内容を確認し、工学部評価委員会において改善方法を検討することとしている。

施設設備整備、情報設備整備及び図書館設備整備に関する自己点検・評価

分析項目	評価事項	評価基準	評価実施主体	内部質保証責任者	自己評価	確認結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
2-3-3	4-4 教育施設設備の状況	教育施設設備への満足度が適正な水準を保っているか。	教育機構	理事（教学・学生担当）	○	○			
4-1-3	4-1 施設・設備の安全性への配慮の状況	施設・設備における安全性について、配慮しているか。	施設・環境マネジメント委員会	理事（総務・財務・施設担当）	○	○			
4-1-4	4-2 情報設備の整備状況	文部科学省が実施する「学術情報基盤実態調査」の観点に基づき、情報設備を適切に整備しているか。	情報メディア基盤センター	情報メディア基盤センター長	○	○			
4-1-5	4-3 図書館設備の整備状況	文部科学省が実施する「学術情報基盤実態調査」の観点に基づき、図書館設備を適切に整備しているか。	図書館	図書館長	○	○			
【特記事項】									
該当なし									
【優れた成果】									
該当なし									
【改善を要する点】									
該当なし									

教職課程に関する自己点検・評価

分析項目	評価事項	評価基準	評価実施主体	内部質保証責任者	自己評価	確認結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要	
-	5-1 1年間の授業期間	1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものになっているか。	教養学部	教養学部長	○	○				
			教育学部	教育学部長	○	○				
			理学部	理学部長	○	○				
			工学部	工学部長	○	○				
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○				
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○				
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○				
-	5-2 シラバスの入力状況	教職課程に関する授業科目のシラバスを全件、全項目について適切に入力しているか。	教養学部	教養学部長	○	○				
			教育学部	教育学部長	○	○				
			理学部	理学部長	○	○				
			工学部	工学部長	○	○				
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○				
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○				
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○				
-	5-3 成績分布の組織的な確認状況	成績評価基準に則り教職課程に関する各授業科目の成績評価及び単位認定を厳格かつ客観的に行い、組織的に確認しているか。	教養学部	教養学部長	○	○				
			教育学部	教育学部長	○	○				
			理学部	理学部長	○	○				
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○				
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○				
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○				
			-	5-6 教員免許取得状況	教員免許取得者を輩出しているか。	教養学部	教養学部長	○	○	
教育学部	教育学部長	○				○				
理学部	理学部長	○				○				
人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○				○				
教育学研究科	教育学研究科長	○				○				
理工学研究科	理工学研究科長	○				○				
5-7 教員就職状況	教員就職者を輩出しているか。	教養学部				教養学部長	○	○		
		教育学部		教育学部長	○	○				
		理学部		理学部長	○	○				
		人文社会科学研究科		人文社会科学研究科長	○	○				
		教育学研究科		教育学研究科長	○	○				
		理工学研究科		理工学研究科長	○	○				
		-		5-8 卒業時・修了時アンケート結果	教育課程への満足度が適切な水準を保っているか。	教養学部	教養学部長	○	○	
教育学部	教育学部長					○	○			
理学部	理学部長		○			○				
人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長		○			○				
教育学研究科	教育学研究科長		○			○				
理工学研究科	理工学研究科長		○			○				
-	5-9 FDの実施状況		教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFDを実施しているか。			教養学部	教養学部長	○	○	
		教育学部		教育学部長	○	○				
		理学部		理学部長	○	○				
		人文社会科学研究科		人文社会科学研究科長	○	○				
		教育学研究科		教育学研究科長	○	○				
		理工学研究科		理工学研究科長	○	○				

—	5-4 実習的科目の実施状況	実習的科目を適切に開講しているか。	教養学部	教養学部長	○	○			
			教育学部	教育学部長	○	○			
			理学部	理学部長	○	○			
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○			
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○			
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○			
—	5-5 教職指導・進路指導の状況	教職志望を高めるための支援を行っているか。	教養学部	教養学部長	○	○			
			教育学部	教育学部長	○	○			
			理学部	理学部長	○	○			
			工学部	工学部長	○	○			
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○			
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○			
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○			
【特記事項】									
該当なし									
【優れた成果】									
該当なし									
【改善を要する点】									
該当なし									

2. 設置計画履行状況等調査において付される指摘事項

研究科の専攻の設置計画について(通知)(令和7年8月29日付け7文科高第808号)により人文社会科学研究科ダイバーシティ科学専攻の設置計画の回答に際し、令和8年度開設大学等附帯事項が付された。
下記の表において附帯事項及び対応計画を記載する

附帯事項	対応計画
理学部数学科の収容定員超過の是正に努めること。(遵守事項)	令和8年度以降の入学人数を入学定員である40人程度に抑制することを基本方針とする。加えて、教育の質保証に留意した適切な履修指導により留年者数の抑制に努めることとし、収容定員充足率の改善を図る。

3. 監事及び会計監査人からの意見

・該当なし

4. 学外有識者による意見

・該当なし

5. 自己点検・評価をもとに受審した第三者評価の評価結果

・該当なし

6. その他

・該当なし